

シラバス
Syllabus
(日本語・各科目)

授業科目名【Class Title】	単位【Credits】	担当者【Class Instructor】				
日本語B (JEP2, 3 合同ホームルーム)	1単位	木下 謙朗				
サブテーマ【Sub Theme】	開講期【Semester】	曜講時【Day & Period】				
	第2学期	金曜日 3講時				
到達目標【Attainment objectives】						
<ul style="list-style-type: none"> 学修あるいは生活上の問題がなく充実した大学生活、日本での生活を送ることができる。 日本語：自分の関心のあるテーマや日常生活を送る上での問題などについて、自分のことばで意見を言ったり、話し合ったりすることができる。 異文化理解：自分の文化と日本文化やほかの国の文化の相違点や共通点を理解し、尊重することができる。 						
講義概要【Lecture Outline】						
<p>自分の国や地域の文化を紹介したり日本文化やほかの国の文化を理解したりする活動を行います。</p> <p>学習上、生活上の相談に乗ります。</p>						
講義方法【Lecture Method】						
<p>毎週、自分の目標を決めて、どれだけがんばれたか書いて出します。自分の国のことを紹介したり、日本の文化に触れたりします。</p>						
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】						
<p>授業のときに紹介します。</p>						
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】						
<table> <tr> <td>発表</td> <td>80% : プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>20% : 提出物、宿題</td> </tr> </table>	発表	80% : プレゼンテーション	平常点	20% : 提出物、宿題		
発表	80% : プレゼンテーション					
平常点	20% : 提出物、宿題					
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】						
<p>特にありません。</p>						
参考文献【Recommended Literature】						
<p>授業のときに紹介します。</p>						
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】						
<p>他の授業と同じように3分の2以上出席しないと単位がありません。遅刻も3回で欠席1回とみなします。</p> <p>授業中、日本語だけを使いましょう。携帯電話や辞書は使わないでください。遅刻や欠席をする場合は必ず連絡してください。</p>						

授業科目名【Class Title】	単位 [Credits]	担当者【Class Instructor】
日本語B(JEP2総合)	8単位	白石典子・中野久美子
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
	第2学期	月・火・水・木 1, 2講時

到達目標【Attainment objectives】

目標 : CEFR A2.2

もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。

予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考え方や情報を交換し、質問に答えることができる。
Can interact with reasonable ease in structured situations and short conversations, provided the other person helps if necessary. Can manage simple, routine changes without undue effort; can ask and answer questions and exchange ideas and information on familiar topics in predictable everyday situations.

非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテクストが理解できる。

Can understand short, simple texts on familiar matters of a concrete type which consist of high frequency every day or job-related language.

出来事、過去の活動、個人的な経験の記述を短い文で書くことができる。

Can write very short, basic descriptions of events, past activities

講義概要【Lecture Outline】

授業で習ったことや、日常生活で経験したことを通して、日本と自分の国の社会や文化について、より理解し、日本語で自分の意見や考えが表現できることを目指します。

講義方法【Lecture Method】

まず、『まるごと 日本のことばと文化 初級2』の「かつどう」を使って会話やインタビュー活動などで話すこと、聞くことの練習をします。それから、「りかい」を使って文法・語彙・表現などの練習問題を行いながら、知識や理解を深めます。また、各課のトピックを通して日本の文化・習慣・社会などについて学びます。習った日本語を使って、自分の意見や考えを伝える練習もします。

初級2が終わってからは、『まるごと 日本のことばと文化 初中級』を使って、初級から中級にステップアップするための練習を行います。

授業時間外における予復習等の指示【Direction related to study out of class】

授業の後にいつも復習をしましょう。授業の前は、必ず新しいことばや文法の予習をしましょう。

日本語が上手になるためには、授業だけではなく、自律学習がとても大切です。

試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】

・試験(3回) 35% : 『まるごと 初級2』2回 ・『まるごと 初中級』1回
※どちらも口頭試験と筆記試験があります。

・クイズ(ディクテーション) 35% : 各課終了後に行います。

・発表 30% : 2回

テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】

『まるごと 日本のことばと文化 初級2』・『まるごと 日本のことばと文化 初中級』

参考文献【Recommended Literature】

ウェブサイト「まるごとプラス 初級2 A2」 <http://a2-2.marugotoweb.jp/en/>

その他の参考文献やウェブサイトなどは、授業のときに伝えます。

受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】

授業ではペアやグループで活動したり、話し合ったりしますから、積極的・協力的に参加しましょう。

授業中は携帯電話や辞書を使わないでください。がんばって日本語だけで話しましょう。

授業科目名【Class Title】	単位【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語B JEP2 (視聴解)	1 単位	いいだ ようこ 飯田 洋子
サブテーマ【Sub Theme】	開講期【Semester】	曜講時【Day & Period】
	第2学期	金曜 1講時
到達目標【Attainment objectives】		

このクラスの目標レベルは、CEFR A2.2 くらいです。

- ゆっくりと、はっきりした議論なら、自分の周りで議論されている話題はおおかた分かる。
Can generally identify the topic of discussion around him/her, when it is conducted slowly and clearly.
- 短い、はっきりとした、簡単なメッセージやアナウンスの要点は聞き取れる。
Can catch the main point in short, clear, simple messages and announcements.
- 日常的な内容や話題の短いテクストや、発話の全体の意味を手がかりに、知らない単語のおおよその意味を文脈から引き出すことができる。
Can use an idea of the overall meaning of short texts and utterances on everyday topics of a concrete type to derive the probable meaning of unknown words from the context.

講義概要【Lecture Outline】

この授業では、会話を聞いて、話の内容やポイントをつかむ練習をします。また、相手との関係による話方の違いや、場面・状況に応じた会話表現などを学びます。

講義方法【Lecture Method】

視聴覚教材を使って、会話の内容やポイントを聞き取る練習をします。また、日常生活の中で日本人とより良い人間関係が築けるよう、コミュニケーションのマナーや日本の習慣などについても理解を深めることを目指します。

授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】

- 授業で勉強したことは必ず復習し、復習クイズの勉強に役立ててください。
- 普段の生活の中でも、日本語のニュースや映画を見たり、駅のホームや電車のアナウンスを注意深く聞いたりするなど、積極的に日本語を聞くよう心がけてください。

試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】

- 定期試験(3回) : 50%
- 復習クイズ(毎回) : 30%
- 平常点(授業への参加度、宿題など) : 20%

テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】

授業中に配布します。

参考文献【Recommended Literature】

授業中に紹介します。

受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】

授業には主体的、積極的に取り組んでください。

授業科目名【Class Title】	単位【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語B (JEP2読解)	1単位	木下 謙朗
サブテーマ【Sub Theme】	開講期【Semester】	曜講時【Day & Period】
	第2学期	金曜日 2講時
到達目標【Attainment objectives】		
次のレベルになることを目標とします。(CEFR A2.2) 日常の具体的な内容や話題の短いテクストや、発話の全体の意味を手がかりに、知らない単語のおおよその意味を文脈から引き出すことができる。		
講義概要【Lecture Outline】		
インプット(読む、聞く)とアウトプット(話す、書く)を繰り返し、今までに勉強した文型を使って、自分が伝えたいことを自分のことばで伝えられるような日本語運用力が身につくような勉強をします。身近な生活場面や日本文化・習慣などを中心に取り上げるので、同時に日本についての理解を深めていくことを目指します。		
講義方法【Lecture Method】		
読み聞いたりしながら新しい表現(語彙)を学び、それが使えるような活動(ドリル、ロールプレイ、プレゼンテーションなど)をします。各課のCan-doを確認しながら、「できること」を増やしていきます。		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
予習と復習を必ずしてください。授業中に紹介します。		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
定期試験 30% : 2回 復習クイズ 30% : 毎課終了時に、学習した内容についての確認クイズをします 発表 20% : プrezentation 平常点 20% : 提出物、宿題		
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】		
『にほんご語彙力アップトレーニング』		
参考文献【Recommended Literature】		
授業のときに紹介します。		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		
授業中、日本語だけを使いましょう。携帯電話や辞書は使わないでください。遅刻や欠席をする場合は必ず連絡してください。		
他の授業と同じように3分の2以上出席しないと単位がありません。遅刻も3回で欠席1回と見なします。		

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語B (JEP3総合)	6 単位	三登由利子・鍋島有希
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
	第2学期	月・火・木曜 1、2講時
到達目標【Attainment objectives】		
このクラスの到達目標は、CEFR B1.1くらいです。具体的な目標は次の通りです。		
1. トピックに関係のあるいろいろな話を聞いて、だいたいの内容を理解したり知りたい情報を聞き取ったりできる。		
2. 情報を交換したり、考え方やコメントを言い合ったりして、相手とやりとりしながら、実際の場面で、ある程度まとまりのある会話を組み立てられる。		
3. 自分の好きな音楽について話す、自国の料理について情報提供するなど、少しくわしい話ができる。		
4. インターネット上の記事やSNS上の書き込みなどを使い、だいたいの内容を理解したり必要な情報を見つけたりできる。		
講義概要【Lecture Outline】		
授業は、「私の国」の料理」「好きな音楽」「習い事」などトピックを中心に行います。そのトピックについて情報収集・話し合い・共同作業・発表などをやって日本語の運用力を高め、実際のコミュニケーション場面で「できる」ことを増やし、自分の文化や日本文化、クラスメートの国の文化や社会の理解を深めます。わからないことばを推測したり、別の言葉で言い換えたり、相手に質問や確認をしながら会話を進めたりするようなストラテジーを取り上げます。また、自己評価チェックリストを使って、何がどのぐらいできるようになったかを確認します。		
講義方法【Lecture Method】		
活動型の授業です。教室の中だけでなく、外へ出て、日本語を実際に使います。そして、そこで気づいたことを振り返ったり、話し合ったり、まとめて発表したりします。		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
語彙の予習や発表準備をします。詳しくは、授業時に指示します。		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
定期試験3回：30% (記述試験、口頭試験)	各課クイズ：20%	
口頭発表：30% (トピックに関連したもの&冬休みタスク)		
校外学習：20% (積極的参加度5%、事後課題15% (プレゼンター10%、リスナー5%))		
テキスト (書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】		
『まるごと 日本のことばと文化』中級1 (B1) (三修社) http://marugotoweb.jp/		
参考文献【Recommended Literature】		
授業のときにお知らせします。		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		
授業では、ペアやグループで活動したり、話し合ったりすることが多くなります。個人的な活動だけでなく、グループ活動への積極的で協力的な参加態度が望れます。		

授業科目名【Class Title】	単位【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語 B (JEP3 文章表現)	1 単位	なべしま 鍋島 有希
サブテーマ【Sub Theme】	開講期【Semester】	曜講時【Day & Period】
	第2学期	水曜 1講時
到達目標【Attainment objectives】		
このクラスの到達目標は、CEFR B1.1 くらいです。目標は、次の通りです。		
1. ソーシャルネットワークの自己紹介で、興味を持っていること、希望や抱負などについて、書くことができる。		
2. 友人に教えるために、料理の作り方のメモを書くことができる。		
3. コンサートに友人を誘うメールを書くことができる。そのとき、どんなコンサートかを簡単に説明できる。		
4. 宿泊予定のホテルや旅館に、メールで質問したり、希望を伝えたりすることができる。		
5. 知り合いに、最近の自分の様子を知らせるメールを書くことができる。		
6. インターネットの相談サイトなどの投稿に対して、自分のコメントを簡単に書くことができる。		
7. 武道などのクラスに、受講方法などを問い合わせるメールを書くことができる。		
8. 欲しい商品の条件や特徴を、日本人コミュニティサイトなどの掲示板に書き込むことができる。		
9. 祭りや行事に参加した体験と感想を、ソーシャルネットワークで簡単に紹介することができる。		
講義概要【Lecture Outline】		
このクラスは、いろいろな場面で、まとまりのある文章が書けるようになることを目指します。		
講義方法【Lecture Method】		
1. 書く内容を整理したり、モデルを見て参考にしたり、テーマに関する語彙を勉強します。		
2. 目的と場面にあった文章を、実際に自分で書いてみます。		
3. 書いた文章は自分でまたはクラスメートと一緒に、正しいかどうか確認します。		
4. 確認して正しく直した後発表をして、内容についてコメントしたり、返事を考えたりします。		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
テーマに関する語彙（語彙シートの配布）の意味を確認しておいてください。 文章を書くための準備（情報を集める）など、宿題を出すことがあります。		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
課題作文 10%×9回、平常点（積極的参加度）10%		
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】		
『まるごと 日本のことばと文化』中級 (B1) (三修社) http://marugotoweb.jp/		
参考文献【Recommended Literature】		
必要な場合は、授業の中でお知らせします。		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		
自分の意見やお願ひなどが、聞いている人に伝わるかを考えて練習しましょう。		

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語 B (JEP3文法)	1 単位	鍋島 有希
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
	第2学期	水曜日2講時
到達目標【Attainment objectives】		
このクラスの到達目標は、CEFR B1.1くらいです。目標は、次の通りです。		
1. 基本的な文法について、正しい使い方がわかる。		
2. 適切な文法を使って、自分が表現したいことを話したりしたりして書いたりできる。		
3. 生活の中や、自分が興味をもっている分野でよく使われる表現については、正確に使うことができる。		
講義概要【Lecture Outline】		
このクラスは、会話に役立つ文法や文型を取り上げて練習します。また、SNS上の書き込み、インターネットの口コミ、ブログ記事などの内容を理解するのに役立つ文法や表現も練習します。		
講義方法【Lecture Method】		
文法や文型の知識をたくさん増やすことだけではなく、具体的な文脈や場面と結びつけながら練習します。「知っている」だけでなく「使える」ことを目的に練習します。		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
毎回、授業の最初に前回の文法の復習クイズをします。		
宿題：語彙シートを配りますから、語彙の意味を確認しておいてください。		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
復習クイズ：30%、定期試験(3回)：60%、平常点(積極的参加度)：10%		
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】		
『まるごと 日本のことばと文化』中級(B1) (三修社) http://marugotoweb.jp/		
参考文献【Recommended Literature】		
必要な場合は、授業の中でお知らせします。		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		
積極的に短文作成をしたり、学習した文法や文型を使って話したりすることが、習慣につながります。場面や人間関係などを考えて、適切な表現を考えて練習しましょう。		

授業科目名【Class Title】	単位【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語B (JEP3視聴解)	1単位	木下 謙朗
サブテーマ【Sub Theme】	開講期【Semester】	授講時【Day & Period】
	第2学期	金曜日 1講時
到達目標【Attainment objectives】	講義概要【Lecture Outline】	
このクラスの日本語レベルの到達目標は、CEFRで、おおよそ「B1.1」です。	<p>1. 発音と内容がはっきりしていれば、日本での生活で耳にする駅やデパート、大学などの放送を聞いて、大事な点を理解できる。</p> <p>2. 発音と内容がはっきりしていれば、日本での生活上の会話や大学の授業を聞いて、大事な点を理解できる。</p> <p>3. 短いニュースや番組などが興味のある話題ではっきりとした標準語で話されれば、大事な点を理解できる。</p> <p>4. 自分にとって身近な問題に関するテレビニュースなどを見て、映像やテロップを頼りに、取り上げられている問題の主要な点を理解することができる。</p>	
講義方法【Lecture Method】	<p>ペアやグループでテキストの会話を聞いて、場面や人間関係を想像します。</p> <p>Dictogloss や Dictation を行って大事なポイントは何か、どんな内容か聞き取ります。</p> <p>自己評価チェックシートを使って、聞く能力がどのくらい伸びたか考えます。</p>	
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】	<p>予習と復習を必ずしてください。授業のときに紹介します。</p>	
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】	<p>定期試験：40% : 2回</p> <p>復習クイズ：30% 毎課終了時に、学習した内容についての確認クイズ</p> <p>平常点：30% 提出物、宿題</p>	
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】	<p>授業のときに紹介します。</p>	
参考文献【Recommended Literature】	<p>授業のときに紹介します。</p>	
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】	<p>授業中、日本語だけを使いましょう。携帯電話や辞書は使わないでください。遅刻や欠席をする場合は必ず連絡してください。他の授業と同じように3分の2以上出席しないと単位がありません。遅刻も3回で欠席1回と見なします。</p>	

授業科目名【Class Title】	単位 [Credits]	担当者【Class Instructor】
日本語 B JEP 3 (読解)	1 単位	いいだ よう子 飯田 洋子
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 [Semester]	曜講時 【Day & Period】
到達目標【Attainment objectives】		
このクラスの目標レベルは、CEFR B1.1くらいです。		
<p>1. 話題が身近なものであれば、時には知らない単語の意味を文脈から推測し、文の意味を推論できる。 Can extrapolate the meaning of occasional unknown words from the context and deduce sentence meaning provided the topic discussed is familiar.</p> <p>2. 手紙、パンフレット、短い公文書のような日常の資料の中から重要な情報を探し出し、理解できる。 Can find and understand relevant information in everyday material, such as letters, brochures and short official documents.</p> <p>3. 身近な話題についての簡単な新聞記事から要点を取り出すことができる。 Can recognize significant points in straightforward newspaper articles on familiar subjects.</p>		
講義概要【Lecture Outline】		
この授業では、様々なトピックの文章を読み、必要な情報を読み取る練習をします。また、読解の練習を通じて、日本の社会・文化・習慣などについての理解を深めることを目指します。		
講義方法【Lecture Method】		
この授業では主に読む練習をします。教材として様々なトピックの文章、新聞記事、メール文などを扱います。わからない言葉の意味を推測したり、文章のポイントをつかむ練習もします。		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
<ul style="list-style-type: none"> 授業で勉強したことは必ず復習し、次の授業に臨んでください。 普段の生活の中でも、大学や街の掲示物、インターネットの情報サイト、新聞・雑誌などを使って、積極的に日本語の文章を読むよう心がけてください。 		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
<ul style="list-style-type: none"> 定期試験(3回) : 50% 復習クイズ(毎回) : 30% 平常点(授業への参加度、宿題など) : 20% 		
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】		
授業中に配布します。		
参考文献【Recommended Literature】		
授業中に紹介します。		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		
授業には主体的、積極的に取り組んでください。		

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語B (JEP 4AB 「HR」)	1 単位	稻垣 宏明	
サブテーマ【Sub Theme】		開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
		第2学期	金・3
到達目標【Attainment objectives】			
何をしたいか、どこに行きたいか、誰を選べばよいか、またはどちらを選べばよいか、などを議論し、代案を比較対照できる。他人の見方に対して簡単なコメントができる。(B 1. 2)			
講義概要【Lecture Outline】			
JEP4A・4B の学生が一緒に活動する科目です。活動を通してお互いの交流が深まるようにしたいです。			
講義方法【Lecture Method】			
学外に出て京都の町を見に行きます。何をしたいか、どこへ行きたいか、など学外学習や授業計画は皆で話し合ってきめます。見学や授業後、気づいたことをまとめて提出してもらいます。			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
授業でしたいこと、行きたいところを調べてもらいます。また、授業（見学など）後レポートを提出してもらいます。			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
レポート：90% 授業参加度：10%			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】			
特になし			
参考文献【Recommended Literature】			
同上			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
授業活動へ積極的かつ協力的な参加態度を望みます。			

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語B (JEP4A 総合)	4 単位	もりもと ゆかこ 森本由佳子	
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】	
さまざまな情報や自分の考え方などをわかりやすく伝えよう	2018 年度 第 2 学期	月 1・2 金 1・2	
到達目標【Attainment objectives】			
このクラスの日本語レベルの到達目標は、CEFR B1.2 です。以下のようなことができるようになることが目標です。			
<ul style="list-style-type: none"> ・関心のある話題について、ある程度長い文章を読んで、必要な情報を得たり、大部分の内容を理解したりすることができる。 ・身近な話題について、はっきり話された音声を聞いて、大部分の情報を理解することができる。 ・身近で具体的な話題だけでなく抽象的な話題についても、ある程度詳しく、また、わかりやすく自分の考え方や情報を伝え、やりとりすることができる。 ・準備してあれば、関心のある話題について、聞き手にとってわかりやすい発表をし、質問に対応することができる。 ・自分の文化と、日本や他の国の文化との共通点・相違点に気づき、理解を深めることができます。 			
授業概要【Lecture Outline】			
この授業は、トピックを中心に行います。いろいろなトピックについて読んだり聞いたりして情報を集めたり、それについてクラスメートと意見を交換したり発表したりします。日本の社会や文化への理解を深めるとともに、自分やクラスメートの文化についても理解を深めます。			
授業方法【Lecture Method】			
まず、自分が今もっている日本語力や知識を使って、さまざまなタスクにチャレンジします。そして、さらに自分に必要なことに気づき、そのタスクを行うために必要なことばや表現、文法などを学習します。教室の中でクラスメートと話し合いをしたり、発表をしたり、また、教室の外で日本人と話したりしながら、いろいろな情報や、自分の経験や考え方などを伝える練習をします。また、さまざまなトピックについて書かれた文章を読んだり音声を聞いたりして、必要な情報を得たり、日本の社会や文化についての理解を深めたりします。			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートなどの課題や宿題にしっかり取り組み、提出してください。 ・トピックに関係することばや表現、文法などについてクイズをします。しっかり復習してください。 ・授業時間外に、調査やインタビューをしたりすることができます。 			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
クイズ 20% ワークシートや宿題の提出 20% 発表・課題 15% 定期試験（中間・期末）35% 授業参加度 10%			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】			
『できる日本語 中級』嶋田和子（監修）、アルク、3400 円+税			
参考文献【Recommended Literature】			
必要な場合は、授業時に紹介します。			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
ペアやグループで活動したり話し合ったりしますので、積極的に参加してください。 また、JEP4A「口頭表現」のクラスで学習することと関係付けながら、授業を進める予定です。			

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語B (JEP4A アカデミック・ジャパニーズ)	1 単位	戎妙子 (えびす たえこ)	
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】	
情報を整理し、短くまとめて表現できる力をつける。	第2学期	木曜日 2講時	
到達目標【Attainment objectives】			
このクラスの日本語レベルの到達目標は、CEFR B1.2くらいです。目標は以下のとおりです。			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 構成がわかりやすい文章であれば、筆者の主張や重要な情報を読み取ることができる。 2.. 他の人にわかりやすく伝えるために、情報を整理して短くまとめることができる。 3. ある話題について、理由をはっきり示しながら、自分の立場や考えを説明することができる。 4. 型を利用して意見文を書くことができる。(400~600字程度) 			
講義概要【Lecture Outline】			
このクラスは大学の授業を受けるために必要なスキルを学ぶクラスです。特に、以下の四つの力を付けることをめざします。			
<ol style="list-style-type: none"> ①大切な情報を抜き出すためのキーワードを見つける力 ②情報を整理して短くまとめる力 ③説得力のある意見文を書く力、 ④日本語でレポートを書くための基礎的な力 			
講義方法【Lecture Method】			
クラスでは以下の練習をする予定です。			
<ol style="list-style-type: none"> ①情報を整理する練習（含むグラフの読み方）、 ②要点をとらえて短くまとめる練習、 ③書き言葉の練習などレポートを書くために必要な練習、 ④内容を深く理解するための質問作りの練習。 			
自分一人でまたはクラスメイトと話し合いながら課題に取り組んでもらいます。			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 資料を読んで、わからない単語があつたら意味を確認しておいてください。 2. 大切な言葉や表現について確認クイズをする予定ですので、復習をしっかりしてください。 3. 要約をしたり、短い意見文、説明用のアウトラインを書く課題があります。 			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
言葉や表現の確認クイズ 10% 要約課題 15% 中間理解度確認テスト 25%、期末理解度確認テスト 25% 最終レポート：25%			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
特にありません。授業の時に資料を配ります。自分できちんとファイルをしてください。			
参考文献【Recommended Literature】			
必要な場合は、授業の中でお知らせします。			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
アカデミックな勉強を日本語でするためには、漢字の言葉やカタカナ語を増やす必要があります。これは少し大変ですが、ステップアップするためにどんどんチャレンジしてください。クラスメイトと協力して課題に取り組む活動を予定していますので、積極的に参加してください。			

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語 B (JEP4A 口頭表現)	1 単位	もりた みさと 森田 美里
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
	2018年度 第2学期	木曜 2講時
到達目標【Attainment objectives】		
このクラスの到達目標は、 <u>CEFR B1.2</u> と <u>2.1</u> の間ぐらいです。具体的な目標は以下のとおりです。		
<ol style="list-style-type: none"> 自分の関心のあること、身近な話題や問題について、意見を言ったり、相手に説明したりすることができる。また、どうしてそう思うのか、ある程度理由も言うことができる。 自分の興味があること、よく知っている話題について、準備していれば、はっきりとわかりやすいプレゼンテーションができる。 質問を準備していれば、あいづちを打って内容を確認しながら、インタビューをすることができる。 何かを決めるような場面で、自分の案を提示したり、さまざまな案を比べたりしながら、議論することができる。 適切な表現を使ってお礼を言ったり、謝ったりすることができる。 		
講義概要【Lecture Outline】		
このクラスは、インフォーマルな場面、フォーマルな場面でのディスカッション、インタビュー、口頭発表で必要なスキルを、実践を通して学ぶクラスです。主にディスカッション、インタビュー、口頭発表、ロールプレイなどを行います。必要であれば、発音練習もします。		
講義方法【Lecture Method】		
ディスカッション、インタビュー、口頭発表などで必要な「意見を言う」「説明する」「質問する」「確認する」「あいづちを打つ」場合の表現を学び、練習します。そして、実際に課外活動で何をするか企画し、プレゼンし、話し合いで決める活動をします。日本人学生にインタビューをしたりすることもあります。		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
授業時間外に資料を調べたり、発表の準備をしたりする課題を出します。		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
授業内活動 ^{*1} (60%)、課題提出 (10%)、授業参加度 ^{*2} (10%)、期末試験 (20%) をループリックで評価。 *1一部の活動を日本人学生に評価してもらうことがあります。 *2 授業中、授業に関係のないこと（携帯で遊ぶ、他の授業の課題をするなど）をしたり、話し合いに参加しなかつたりした場合、授業参加度から減点します。		
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】		
参考文献【Recommended Literature】		
授業の中で紹介します。		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		
フィードバック、評価のために、活動の様子をビデオに撮ったり、録音したりすることもあります。 授業内の活動には積極的に参加してください。この授業での話し合いで決める課外活動を、JEP4A の総合クラスで実際にすることも予定しているので、総合と一緒に履修したほうがいいです。		

授業科目名【Class Title】	単位 [Credits]	担当者【Class Instructor】
日本語B (JEP 4 A 文章表現)	1単位	立川真紀絵 たちかわ ま きえ
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
日本語でまとまりのある文章を書こう にほんご ぶんしょう か	2018年度 第2学期	水1
到達目標【Attainment objectives】		
<p>このクラスの日本語レベルの到達目標は、CEFR B1.2と2.1の間ぐらいです。具体的な目標は、次の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 短くてよいので、日本語でまとまりのある文章を書くことができる。 生活の中や自分が興味をもっている分野の話題について詳しく書くことができる。 読む人にわかりやすいように説明や自分の意見を書くことができる。 		
授業概要【Lecture Outline】		
<p>このクラスでは、これまでに学習した文法や表現を意識しながら、文章を書く練習します。600字ほどのまとまりのある文章を書く力を身につけ、いろいろな物事についての説明、調べたことの報告、自分の意見について読む人がわかりやすいように書くことを自指します。</p>		
授業方法【Lecture Method】		
<p>書く内容について授業でディスカッションし、整理した上で文章を書きます。文章のフィードバックを受けて、気がついた点(わかった・わからない点、よい・よくない点)について学生同士で共有し、文章を直します。</p>		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
<p>文章を書くための情報を集めたり、文章を書く宿題を出すことがあります。</p>		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
<p>宿題: 10%、授業での課題文: 60%、期末レポート: 30%</p>		
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】		
<p>プリントを配ります。</p>		
参考文献【Recommended Literature】		
<p>授業でお知らせします。</p>		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		
<p>授業では、学生同士でお互いの文章を読み、コメントをします。また、文章を書くこと以上に、書いた文章を置すことを重視します。人から積極的にコメントをもらってください。</p>		

授業科目名【Class Title】	単位【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語B (JEP 4A 文法)	1 単位	三谷 閑子
サブテーマ【Sub Theme】	開講期【Semester】	曜講時【Day & Period】
日常生活や関心のある話題について、自分が言いたいことを適切に表現できる力をつける	2018年度 第2学期	水曜日 2時間目
到達目標【Attainment objectives】		
このクラスが目指す到達レベルは、CEFR B1.2と2.1の間くらいです。具体的な目標は以下の通りです。		
1. 基本的な文法について、意味、形、正しい使い方がわかる。 2. 身近な話題について、適切な文法を使って自分が表現したいことを話したり、書いたりできる。 3. 生活の中や、自分が興味を持っている分野でよく使われる表現は、ある程度正確に使うことができる。		
講義概要【Lecture Outline】		
このクラスは、文法の復習を中心に、初級や中級前半レベルの文法を勉強するクラスです。その文法が、どのような形で、どのような意味で使われているかを確認し、さまざまなスタイルの問題で練習しながら、理解を深めます。		
講義方法【Lecture Method】		
文法の形式、意味について学生が説明したり、話し合ったりして正しい使い方を確認します。その後で、選択する問題、読む問題、文を作る問題など、いくつかの問題で練習します。また、授業の最初に前回の文法の復習クイズをします。		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
復習クイズの準備をしてください。読む問題や文を作る問題を宿題にすることもあります。		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
授業参加度：10%、宿題：10%、復習クイズ：20%、中間テスト：30%、期末テスト：30%		
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】		
授業でお知らせします。		
参考文献【Recommended Literature】		
授業でお知らせします。		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		
学生同士で文法や表現方法について一緒に考え、話し合うことがあります。クラスでの話し合いには積極的に参加してください。		

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語B (JEP4A 視聴解)	1 単位	鎌田 美保
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
スピーチ、ニュース、会話などのポイントを聞き取る	第2学期	火1
到達目標【Attainment objectives】		
このクラスの日本語レベルの到達目標は、CEFR B1.2と2.1の間ぐらいです。具体的には以下のようなことができるようになることが目標です。		
<p>1. 話し方や比較的ゆっくりで、はっきりしていれば、興味のある分野のスピーチや講演の重要な部分を理解することができる。</p> <p>2. 興味のあることや身近な内容であれば、テレビ番組やニュースを見て、映像やテロップを頼りにしたり、辞書で調べたりしながら、だいたいの内容を理解することができる。</p> <p>3. 母語話者が話している会話を聞いて、何について話しているかだいたい理解できる。</p>		
講義概要【Lecture Outline】		
このクラスでは、ニュースやスピーチ、テレビ番組などを見て理解できるように、ことばや表現、聴解のテクニックなどを学びます。視聴する内容は受講生の専門分野や興味、希望等から決めたいと思います。		
講義方法【Lecture Method】		
ニュースやスピーチを聞き取るための練習をし、テレビや動画などを見て、内容を理解する活動を行います。聞いた内容をグループやクラス全体で話し合い、理解を深めていきます。動画を見て問題に答えたり、聞いた内容をまとめたり、発表したりする活動もあります。		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
授業の時に指示します。		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
授業への参加度(20%)、課題の提出、小テスト(20%)、中間試験(30%)、期末試験(30%)		
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】		
ハンドアウトを配布します。		
参考文献【Recommended Literature】		
ボイクマン総子・宮谷敦美・小室リー 郁子著『日本語生中継一聞いて覚える話し方(初中級編2)』(くろしお出版)		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		

授業科目名【Class Title】	単位【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語B (JEP4A 読解)	1 単位	久保 るみ
いろいろな日本語を読む	2018年度 第2学期	火曜日 2講時
到達目標【Attainment objectives】		
<p>このクラスは、CEFRの日本語レベルB1.1で、到達目標は、B1.2～B2.1ぐらいです。目標は、以下の3つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 留学生活で、自分に必要な案内、生活情報などの、自分に必要な情報を探して理解することができる。 身近でわかりやすいトピックの新聞記事、エッセイや、わかりやすい表現の小説を読むことができる。 新聞記事の身近なトピックの報告文(データを含む)を読んで、大切なポイントを理解することができる。 		
授業概要【Lecture Outline】		
<p>日本の留学生活で必要な案内、生活情報を読んで、自分に必要な情報を読み取る練習をしていきます。また、身近な話題のエッセイ、身近な場面の小説や漫画、新聞の身近な記事などを読んで、日本人の考え方や生活などを理解していきます。</p>		
授業方法【Lecture Method】		
<p>読むことが中心の授業です。生活情報を読むときに必要な語彙や表現、フォームなどを学んでいきます。そして、エッセイや新聞記事、小説、漫画などを読んでいくときに必要な読解テクニックも学んでいきます。一人一人の読解活動は、もちろん、クラスメートとの読解活動もします。読んだ情報を交換したり、読んだ内容について意見交換したりします。受身でなく、授業では、積極的に読んでいく態度が必要です。</p>		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
<p>先生が指示する予習や復習は、必ずしてください。</p>		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
<p>試験は、中間試験、期末試験をします。成績評価は、以下の2点で決定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 中間・期末試験60% 平常点(授業への参加度、復習クイズの成績など)40% 		
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】		
<p>プリントを配布します。</p>		
参考文献【Recommended Literature】		
<p>授業時に紹介します。</p>		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		
<p>楽しみながらたくさん日本語を読んでいきましょう。プリントを配布するので、プリントを整理するファイルを準備してください。</p>		

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語B (JEP4B 総合)	4 単位	よしだ ひみ 吉田笑美	
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】	
日本の社会や文化について知り、考える	2018年度 第2学期	月1・2 金1・2	
到達目標【Attainment objectives】			
このクラスの日本語レベルの到達目標は、CEFR B1.2と2.1の間ぐらいです。具体的には以下のようなことができるようになることが目標です。			
<ol style="list-style-type: none"> 日常の場面で、母語話者同士の会話や、比較的長い文章の中から必要な情報を得ることができる。 十分に準備してあれば、自分の専門範囲や興味のあることがらについて、明確なプレゼンテーションを行うことができる。 会話や議論の中で、言われたことをたいてい理解でき、自分の意見や考えを簡単に理由を挙げて説明し、理解させることができる。 身のまわりで起きているさまざまなことについて、興味、関心を広げることができる。 			
授業概要【Lecture Outline】			
この授業はトピックを中心に行い、テキストを読みながら課題について考えたり、クラス内で意見交換したりしながら自分の考えを表現していきます。クラスの内外でのさまざまな活動を通してクラスメートや教室の外の人と積極的に関わることで、日本語の運用能力を高め、日本社会や文化について考えを深めます。			
授業方法【Lecture Method】			
この授業は次のように進めます。			
<ol style="list-style-type: none"> トピックについて書かれた文章や音声から情報を得、日本の社会や文化についての理解を深める。 そこで使われたことばや文法について学習する。 トピックについてクラスメートと話し合い、意見を交換しながら考えを深める。 トピックに関連したことについて自分で調べ、分析し、まとめ、発表する。 クラスメートの発表を聞いて考えたことを話し合い、さらに考えを深める。 			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
<ol style="list-style-type: none"> テキストには難しいことばが多く出てくるので、指示した部分は必ず予習をしてください。 テキストのことばや文法・内容についての確認クイズをします。しっかり復習をしてください。 ワークシートなどの課題を出しますので、提出してください。 授業時間外に調査やインタビューをしたりすることができます。 			
詳しくは授業時に指示します。			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
確認クイズ 20% 定期試験（中間・期末）30% ワークシートなどの課題（宿題）15% 課題作文 15% 最終レポート 10% 授業参加度 10%			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
東京外国語大学留学生日本語教育センター『出会い』ひつじ書房 (3000円+税)			
参考文献【Recommended Literature】			
授業時に紹介します。			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
ペアやグループで活動したり話し合ったりします。協力的な態度で積極的に参加してください。			

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語B (JEP4B アカデミック・ジャパニーズ)	1 単位	戎妙子 (えびす たえこ)	
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】	
情報を整理し、短くまとめて表現できる力をつける。	第2学期	木曜日 1講時	
到達目標【Attainment objectives】			
このクラスの日本語レベルの到達目標は、CEFR B1.3くらいです。目標は以下のとおりです。			
<ol style="list-style-type: none"> 構成がわかりやすい文章であれば、短い時間で筆者の主張や重要な情報を読み取ることができる。 他の人にわかりやすく伝えるために、情報を整理して短くまとめることができる。 ある話題について、理由をはっきり示しながら、自分の立場や考えを説明することができる。 資料を活用しながら、型を使ってわかりやすい意見文を書くことができる。(600~800字程度) 			
講義概要【Lecture Outline】			
このクラスは大学の授業を受けるために必要なスキルを学ぶクラスです。特に、以下の四つの力を付けることをめざします			
<ol style="list-style-type: none"> 大切な情報を抜き出すための力 (キーワード探し、メモなど) 情報を整理して短くまとめる力、 説得力のある意見文を書く力 日本語でレポートを書くための基礎的な力 			
講義方法【Lecture Method】			
クラスでは以下の練習をする予定です。			
<ol style="list-style-type: none"> 情報を整理する練習 (含むグラフの読み方)、 要点をとらえて短くまとめる練習、 書き言葉の練習などレポートを書くために必要な練習、 内容を深く理解するための質問作りの練習。 			
自分一人でまたはクラスメイトと話し合いながら課題に取り組んでもらいます。			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
<ol style="list-style-type: none"> 資料を読んで、わからない単語があつたら意味を確認しておいてください。 大切な言葉や表現について確認クイズをする予定ですので、復習をしっかりしてください。 要約をしたり、短い意見文を書く課題があります。 最終レポートを書くために情報を集める課題があります。 			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
言葉や表現の確認クイズ 10% 要約課題 15% 中間理解度確認テスト 25%、期末理解度確認テスト 25% 最終レポート：25%			
テキスト (書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
特にありません。授業の時に資料を配ります。自分できちんとファイルをしてください。			
参考文献【Recommended Literature】			
必要な場合は、授業の中でお知らせします。			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
アカデミックな勉強を日本語でするためには、漢字の言葉やカタカナ語を増やす必要があります。これは少し大変ですが、ステップアップするためにどんどんチャレンジしてください。クラスメイトと協力して課題に取り組む活動を予定していますので、積極的に参加してください。			

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語 B (JEP4B 口頭表現)	1 単位	もりた みさと 森田 美里	
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】	
		2018年度 第2学期	木曜 1講時
到達目標【Attainment objectives】			
<p>このクラスの到達目標は、CEFR B1.2 と 2.1 の間ぐらいです。具体的な目標は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分の関心のあること、身近な話題や社会問題について、意見を言ったり、相手に説明したりすることができる自信を持ってできる。また、どうしてそう思うのか、ある程度理由も言うことができる。 自分の興味があること、よく知っている話題について、準備していれば、はっきりとわかりやすいプレゼンテーションができる。 適切なあいづちを打って、相手の言いたいことを確認したりしながら、用意されたインタビューをやり遂げることができる。相手の答えを受けてそれに続くような質問をいくつかは出すことができる。 何かを決めるような場面で、自分の案を提示したり、さまざまな案を比べたりしながら、議論することができる。 本や映画の筋を順序だてて話し、それに対する自分の考えを述べることができる。 			
講義概要【Lecture Outline】			
<p>このクラスは、インフォーマルな場面、フォーマルな場面でのディスカッション、インタビュー、口頭発表で必要なスキルを、実践を通して学ぶクラスです。主に、JEP4B の総合クラスで学んだことを発展させた内容で、ディスカッション、インタビュー、口頭発表、ロールプレイなどを行います。必要であれば、発音練習もします。</p>			
講義方法【Lecture Method】			
<p>ディスカッション、インタビュー、口頭発表などで必要な「意見を言う」「説明する」「質問する」「確認する」「あいづちを打つ」場合などの表現を学び、練習します。ときどき、日本人学生に参加してもらい、ディスカッションをしたり、インタビューをしたり、発表を聞いてもらったりします。</p>			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
<p>授業時間外に資料を調べたり、発表の準備をしたりする課題を出します。</p>			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
<p>授業内活動^{*1} (60%)、課題提出 (10%)、授業参加度^{*2} (10%)、期末試験 (20%) をループリックで評価。</p>			
<p>*1 一部の活動を日本人学生に評価してもらうことがあります。</p>			
<p>*2 授業中、授業に関係のないこと（携帯で遊ぶ、他の授業の課題をするなど）をしたり、話し合いに参加しなかったりした場合、授業参加度から減点します。</p>			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
<p>総合で使用するテキスト（東京外国語大学留学生日本語教育センター『出会い』ひつじ書房）</p>			
参考文献【Recommended Literature】			
<p>授業の中で紹介します。</p>			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
<p>フィードバック、評価のために、活動の様子をビデオに撮ったり、録音したりすることもあります。 授業内の活動には積極的に参加してください。</p>			

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】			
日本語B（JEP 4B 文章表現）	1単位	三谷 閑子			
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】			
読み手を意識しながら、いろいろな種類の文章を書いてみよう	2018年度 第2学期	水曜日 1時間目			
到達目標【Attainment objectives】					
このクラスの到達目標は、CEFR B1.3くらいです。以下は具体的な目標です。					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 相手を意識して、依頼やお礼のメールを書くことができる 2. 自分の意見を読者がわかるように気を配りながら書くことができる 3. 短くても、指定された話題についてまとまりのある文章を書くことができる 4. 自分の関心がある話題について、接続詞を使い、段落や全体の構成に注意して800字ほどのまとまりのある文章を書くことができる 					
講義概要【Lecture Outline】					
書くことが中心の授業です。読む人を意識して、目的と場に合った文章の種類や表現を選ぶ力を身につけます。メール、説明文、意見文、報告文などを書く練習をしながら、読む人にとってわかりやすい文章を書くためにはどのようなことに気をつけたらよいのかを考えていきます。					
講義方法【Lecture Method】					
テーマに関連したものを読んだり、書く内容についてディスカッションしたりして文章を書きます。フィードバックを受けて、どう直せばよいのかを考えます。学生同士でお互いに書いたものを読み合って感想を言い、気づいた点を話し合うこともあります。					
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】					
文章を書くための情報を集める宿題や、文章を書く宿題を出すことがあります。					
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】					
平常点（授業参加度）：10%、宿題・クイズ：10%、授業での課題文：60% 期末課題：20%					
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】					
プリントを配ります。					
参考文献【Recommended Literature】					
授業でお知らせします。					
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】					
クラスメートとの話し合いは書くときの助けになります。クラスでの意見交換には積極的に参加してください。					

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語B (JEP 4 B 文法)	1単位	立川真紀絵 たちかわ ま きえ	
サブテーマ【Sub Theme】		開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
中級文法 ちゅうきゅうぶんぽう		2018年度 第2学期	水2
到達目標【Attainment objectives】			
<p>このクラスの日本語レベルの到達目標は、CEFR B1.2と2.1の間ぐらいです。具体的な目標は、次の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 中級レベルの日本語文法について、形式、意味、使い方がわかる。 生活の中や自分が興味をもっている分野以外の文章でも、文法の意味を確認しながら、正確に読むことができる。 文法を適切に使って話したり、書いたりして、自分が表現したいことを明確に表現することができる。 			
授業概要【Lecture Outline】			
<p>このクラスは、中級レベルの文法を勉強するクラスです。その文法が、どのような形で、どのような意味で使われているかについて学習し、練習問題を解きながら、理解を深めます。</p>			
授業方法【Lecture Method】			
<p>文法の形式、意味について学生同士で説明したり話し合って、正しい使い方を学習します。その後、選択する問題、読む問題、文を作る問題など、様々なタイプの練習問題を解きます。</p>			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
<p>読む問題や文を作る問題を宿題にすることがあります。また、授業の最初に前回の文法の復習クイズをします。</p>			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
<p>復習クイズ：30%、中間テスト：30%、期末テスト：40%</p>			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】			
<p>『学ぼう！にほんご 中級 - 初級から上級までの一貫シリーズ Vol. 4-』日本語教育教材開発委員会（編著）、専門教育出版、1,800円+税</p>			
参考文献【Recommended Literature】			
<p>授業でお知らせします。</p>			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
<p>授業では学生同士で、日本語だけでなく皆さんの言語の文法・表現方法についてディスカッションし、一緒に考えます。積極的に授業に参加してください。</p>			

授業科目名【Class Title】	単位【Credits】	担当者【Class Instructor】
日本語B (JEP 4B 視聴解)	1 単位	久保 るみ
サブテーマ【Sub Theme】	開講期【Semester】	曜講時【Day & Period】
	2018年度 第2学期	かようび 火曜日 1講時
到達目標【Attainment objectives】		
<p>このクラスの日本語レベルの到達目標は、CEFRで、おおよそ「B1.3」です。具体的には、以下の3つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分の周りでの長い会話や議論の要点を理解できる。 個人的に興味のあつたり身近な話題で、ゆっくりとはっきりした話し方のものならば、放送されたインタビュー、短い発表、ニュースレポートなどを理解することができる。 自分の専門の話題で、わかりやすいものならば、話を理解できる。 		
授業概要【Lecture Outline】		
<p>大学への留学生活で必要とされる聞く能力を高めることを目指します。学生同士の会話や議論を理解し、会話や議論に参加するための聞く技能や、身近で興味のある話題のテレビニュースや番組、講演、インタビュー、講義などを聞く技能を高めることを目指します。</p>		
授業方法【Lecture Method】		
<p>テキストのCDやテレビ番組などを、教師作成プリントなどを使って、基本的な表現を学びながら、視聴し、ポイントをつかみ、音声を何度も確認していくことで、日本人の話し方に慣れていくことを自己評価チェックリストを使って自己評価し、何ができるのか、何がどのくらいできるようになったかを確認します。</p>		
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】		
<p>授業内の聞く練習だけでは、足りませんので、宿題などを通じて、積極的に日常生活でも聞く機会を増やしていきましょう。</p>		
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】		
<p>最終試験を実施します。成績評価は、以下の2点で決定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 中間・期末試験60% (2) 平常点(授業への取り組み方、宿題や課題など) 40% 		
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】		
<p>授業時に紹介します。</p>		
参考文献【Recommended Literature】		
<p>授業時に紹介します。</p>		
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】		
<p>楽しくてたくさん日本語を聴いていきましょう。</p>		

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語B (JEP4B 読解)	1 単位	鎌田 美保	
サブテーマ【Sub Theme】		開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
さまざまなタイプの文章を読み、読解テクニックを伸ばす		第2学期	火2
到達目標【Attainment objectives】			
このクラスの日本語レベルの到達目標は、CEFR B1.2と2.1の間ぐらいです。具体的には以下のようなことができるようになることが目標です。			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 長いテクストにざっと目を通して、必要な情報を探し出すことができる。 2. 留学生活で読む機会がある掲示やお知らせなどを読んで、ポイントを理解することができる。 3. 自分の興味のある分野の文章を読んで、だいたいの意味を理解することができる。 4. 資料や辞書を参考にしたりしながら、小説やエッセイなどを読み続けることができる。 			
講義概要【Lecture Outline】			
さまざまなテクストタイプの文章を読み、速読などの読解のテクニックを練習します。ある程度まとまった文章を読み、内容理解をするための活動を行います。読む文章は新聞記事、サイト記事、小説、エッセイ、マンガ、留学生活に関する文章などです。文章の内容やテーマは受講生の専門分野や興味、希望等から決めたいと思います。			
講義方法【Lecture Method】			
文章を一人ひとりが読み、理解した内容をグループやクラス全体で話し合い、理解を深めていきます。文章を読んで問題に答えたり、読んだ内容をまとめたり、発表したりする活動もあります。			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
授業の時に指示します。			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
授業への参加度(20%)、課題の提出、小テスト(20%)、中間試験(30%)、期末試験(30%)			
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
ハンドアウトを配布します。			
参考文献【Recommended Literature】			
授業の時に紹介します。			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンルに関係なく、読むことを楽しむことと、読むことや他の学生との話し合いを通して、さまざまな見方に気づいて、みんなの世界が広がることを期待します。 ・授業で習ったことを使って、留学生活をよりよいものにするために、たくさんの情報を探し出してもらいたいです。 			

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】			
日本語 B 【JEP5,6 HR】	1 単位	こまつ 小松 知子			
体験を通して学び合う	後期	金 3 講時			
到達目標【Attainment objectives】					
<p>いぶんかのうりょく <異文化能力></p> <p>じゅうなんたかくてきしてん 異文化と自文化を理解するための柔軟で多角的な視点を持つ</p> <p>げんごのうりょく <言語能力> CEFR B2程度</p> <p>じょうほうていきょう 実際の活動を通して、特に情報提供ややり方の説明をするときに、流暢で正確に効果的にこ とばを使うことができ、聞き手に負担を与えない</p>					
講義概要【Lecture Outline】					
<p>じゅう JEP5 と JEP6 の学生の交流の場となる時間です。JEP5,6 の学生は、学部や日本語の授業を自由 に選択して履修しているので、同じグループメンバーで集まる機会がほとんどありません。この時 間を共有し、さまざまな体験を通して、学び合います。</p> <p>じゅう 授業では、受講生が毎回順番に担当者になって、自分の得意なことを教えたり、活動を仕切った りします。例えば、これまでには、自分の言語を教えたり、ゲームやダンス、武道と一緒にやったり、 折り紙やミサンガ、扇などを作ったり、短編映画を見て意見交換したりしました。時には、日本人 学生に先生になってもらったり、季節の花や紅葉を見に行って俳句を作ったりすることもあります。</p>					
講義方法【Lecture Method】					
<p>じゅう 1回目の授業では、履修のし方や授業内容についての相談を受け、担当者を決めます。2回目以降 は、順番に担当者が活動を仕切り、実施します。受講者数によっては、2人で1つの活動を担当す ることも、1人で2回担当することもあります。</p> <p>まちや 町家キャンパスを使ったり、大学の外に遠足に行ったりすることもできます。</p>					
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】					
担当になった人は、授業までに準備をします。					
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】					
担当、参加：100%					
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】					
特になし					
参考文献【Recommended Literature】					
特になし					
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】					
<p>じゅんび 準備の方法や必要なものについて相談がある場合は、なるべく早めに小松まで言いに来てください い。担当者としても参加者としても活動に積極的、協力的に参加してください。</p>					

2018年度シラバス（講義概要・授業計画）

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】			
日本語 B【JEP 5,6 総合】	2 単位	森脇 三智子			
学生自らがやりたい活動を決める。	第2学期	金1・2講時			
到達目標【Attainment objectives】					
<p>このクラスの到達目標は、CEFR B2です。具体的には、以下のような目標が挙げられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 流暢に自然に会話することができる。重要な点を強調し、関連事項を詳しく説明したり、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明したりできる。 2. 自分の関心のある分野について、複数の情報源からの情報と論拠を統合して報告できる。 3. インタビューをなめらかに行い、より興味深い話を引き出すことができる。また、その内容を要約し、重要な点や関連する補足事項を加えて、記事を書くことができる。 4. 日本や他学生の出身文化などの異文化と、自文化を理解するための視点を身につける。 					
講義概要【Lecture Outline】					
<p>自分たちがしたい活動を自分たちで決定し、その方法も自ら決定するという方法によるプロジェクトワークを基本的に行います。日本人へのインタビューや日本語資料からの情報収集、話し合い、メールでのやりとり、発表・記事作成などの総合的な活動を通して日本語の運用力を高め、日本社会や文化への理解を深めると同時に、自文化や異文化への理解を深めます。</p> <p>これまでには、留学生や龍大生、その他日本人にインタビューをして記事を書いたり、テーマを決めてビデオ映像を作ったりしました。</p> <p>学生は、活動の前と後に自己評価をし、自分の課題や目標を意識します。</p>					
講義方法【Lecture Method】					
<p>活動型の授業です。教室外での体験や日本人との交流、メールでのやりとり、インタビューなどを通して、気づいたことを振り返ったり、話し合ったり、記事にしたり、発表したりします。</p> <p>活動の前と後に自己評価をし、何ができるないか、何ができるようになったかを確認します。でき上がった作品は、グローバルコモンズに掲示したり、上映会を開いたりする予定です。</p>					
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】					
<p>調査やインタビューなど、授業時間外にする活動が多くあります。また、書く作業も宿題となることがあります。詳しくは、授業時に指示します。</p>					
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】					
<ul style="list-style-type: none"> ・最終課題（記事、発表、レポートなど）：50% ・インタビュー試験：25% ・中間課題（企画書発表・提出物など）：25% 					
<p>※授業開始後、活動内容が決定してから変更することがあります。授業中にくわしく説明します。</p>					
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】					
<p>特になし</p>					
参考文献【Recommended Literature】					
<p>必要があれば授業時に知らせます。</p>					
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】					
<p>授業ではペアやグループで活動したり、話し合ったりすることが多くなります。個人的な活動だけでなく、グループ活動への積極的で協力的な参加態度が望まれます。</p>					

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語 B 【JEP5 ビジネス日本語】	1 単位	あくだ 福田 えり	
サブテーマ【Sub Theme】		開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
		後期	火 1 講時
到達目標【Attainment objectives】			
このクラスの到達目標は、CEFR B2.1 くらいです。具体的な学習目標は以下のとおりです。			
<ul style="list-style-type: none"> 相手の置かれている立場を考え、相手の求めている情報は何かを想像しながら、簡潔にわかりやすく伝えることができる。 理由や具体例を示しながら自分の意見を主張することができる。また相手のコメントをよく理解した上で、反応することができる。 ビジネスメールの基本構成を理解し、情報が整理された、わかりやすいメールを書くことができる。 社長インタビューや企業内容に関連する記事を読んで、発信者が伝えたい主要なメッセージを理解することができる。それに対する自分の意見を相手にわかりやすく説明することができる。 状況や相手に応じた適切な言葉づかいで、自信を持って言いたいことを伝えることができる。 自身やクラスメートのパフォーマンスを、評価基準にそって適切に評価することができる。 			
講義概要【Lecture Outline】			
将来日本と関係のある仕事に就きたい、日本で働くことに興味がある学生が対象です。これまで皆さんが身につけてきた「読む」「書く」「聞く」「話す」力をビジネス場面のコミュニケーションに応用して行きます。今期は、オフィシャル場面の自己紹介、メールやりとり、面接に加えて、Nintendo の社長メッセージを読んだり、日本で働く元留学生の話を聞いたり、日本社会の実際を理解する活動を予定しています。			
講義方法【Lecture Method】			
実際のコミュニケーションタスクを想定した練習をします。			
ピアレビューを取り入れ、自己評価だけでなく、互いのパフォーマンスを評価します。			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
事前に動画を見てもらうなどの予習や、授業中に作業が終わらなかった場合は授業外に作業してもらうことがあります。詳しくは授業中にお伝えします。			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
授業中のパフォーマンスおよび提出物 (90%)、平常点 (10%)			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
必要に応じて授業中に配布します。			
参考文献【Recommended Literature】			
必要に応じて授業中に提示します。			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
みんなの将来の夢に少しでも近づける学びがあることを願いながら、積極的な参加をお待ちしています。			

2018年度シラバス（講義概要・授業計画）

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語 B 【JEP5 関西方言】	1 単位	八木 和枝 やぎ かずえ	
サブテーマ【Sub Theme】		開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
		後期	水1 講時
到達目標【Attainment objectives】			
<p>このクラスの目標は、以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本語の多様性について認識し、その理由や背景について理解できる。 京都弁を含む関西方言の特徴、言語コミュニケーションの文化的側面が理解できる。 身近な話題や経験した内容であれば、関西方言話者の会話を聞いて、理解できる。 学生同士の関西方言を使った会話に、詳しい説明を求めたり、自分の理解したことを確認したりしながら参加できる。 標準語と関西方言の異同について認識し、場や参加者に応じて使い分けを心がけることができる。 			
講義概要【Lecture Outline】			
<p>この授業では、関西方言の学習をします。日本語の多様性を知ることや関西方言についての知識を得ることだけでなく、実際に聴いて理解するための力や、会話に参加できるようになるための力を身につけます。また、関西独特のことばを京阪式のアクセントで発音する練習も行います。</p>			
講義方法【Lecture Method】			
<p>前半は、関西方言の音声データを使い、聴解の練習を行います。その際、標準語との相違に着目しながら、関西方言の音声、語彙、文法、談話における特徴、便利な言い回し、等について整理します。後半は、関西の「お笑い」を含む、言語コミュニケーションの文化的側面について調査し、ミニ発表を行う予定です。フィードバックや評価のために活動を録音・録画することができます。</p>			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
<p>前半は、毎回、授業の初めにクイズを行います。授業で習った文法や語彙などは、必ず復習して覚えましょう。活動の準備などは、授業時間外に行う可能性があります。</p>			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
<p>クイズ：30%</p> <p>聴解試験：30%</p> <p>方言調査活動：40%</p>			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
<p>ハンドアウトを配布します。</p>			
参考文献【Recommended Literature】			
<p>授業中に説明します。</p>			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
<p>授業では、ペアやグループで話し合ったり、活動に取り組んだりします。関西方言に関する気づきの共有や調査についての提案など、積極的な参加が必要です。</p>			

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語 B 【JEP5 アカデミックジャパニーズ】	1 単位	久保 圭	
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】	
クリティカル・シンキングを身につける		後期	木2講時
到達目標【Attainment objectives】			
このクラスが目標とするレベルは、CEFRでB2.1程度です。その言語能力をベースに、以下の3点に取り組み、思考力を養います。			
<ol style="list-style-type: none"> ある物事に対して、いくつかの観点を持って発想することができる。 論理を意識しながら、アイデアを整理することができる。 口述または記述によって、自らの考えをわかりやすく相手に伝えることができる。 			
講義概要【Lecture Outline】			
レポート課題や議論をはじめ、大学や大学院における学術的な活動には、「あるテーマについての問題に対し、深い思考をもって取り組み、解決する力」が必要となります。この講義では、特にクリティカル・シンキング、つまり、批判的思考力の養成を目的として、ディスカッションやレポート作成に取り組みます。			
講義方法【Lecture Method】			
前期はディスカッション、後期はレポート課題やプレゼンテーションによってクリティカル・シンキングのスキルを養います。語彙や文法の習得を主な目的とした授業ではありませんが、必要なものに関しては隨時指導します。			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
授業中に指示します。			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
授業中の活動（積極性や貢献度など）20%、宿題 30%、定期試験（レポート課題）50%で評価します。ただし、評価方法は授業の進み方によって変える可能性があります。			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
必要に応じて授業で紹介します。			
参考文献【Recommended Literature】			
なし			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
わからないことを、わからないままにしないようにしましょう。質問したり、自分で（または友達と）調べたりするなど、方法はたくさんありますが、自発的な努力がなければ、いつまでも問題は解決しません。			

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語B【JEP5 口頭表現】	1単位	久次優子 ひさつぎ ゆうこ	
サブテーマ【Sub Theme】		前期・後期	水曜日 2講時
到達目標【Attainment objectives】			
<p>このクラスの到達目標はCEFR B2.1くらいです。具体的には次のような目標が挙げられます。</p> <p>【会話・ディスカッション】</p> <ol style="list-style-type: none"> 母語話者と互いに無理なく自然にコミュニケーションができる 気持ちのありようを伝え、出来事や経験のもつ個人的重要性を強調することができる。 相手が強調した点をよく理解したうえで、根拠を示したりや仮説を立てたりして、自分の考えをはっきりと説明することができる。 異文化間のコミュニケーションにおいて、異なることを認め、自分とは異なる物の見方を尊重し、よく考えて自分自身を表現することができる <p>【プレゼンテーション】</p> <ol style="list-style-type: none"> 関心のあるテーマで聞き手を意識したわかりやすいプレゼンテーションができる 経験したことや関心のある事柄の詳しい情報を伝えることができる 利点と欠点を挙げて、話題となる問題について説明できる。 聞き手からの質問に対して適切に答えることができる 			
講義概要【Lecture Outline】			
<p>異文化間でのコミュニケーションについて考えたり、会話の練習をしたりして、文化間の相違を知り、自信を持って口頭でのやりとりができるようになることを目指します。また、関心のあるテーマについて、クラスメイトに発表したり、ディスカッションしたりします。1つのことを文化的な背景や考え方の異なる人たちと話すことによって、色々な物の見方を知ることができます。のために、必要な情報の伝え方、意見の述べ方も練習していきます。</p>			
講義方法【Lecture Method】			
<p>ロールプレイ、プレゼンテーション、ディスカッションを中心に進めます。それらは、フィードバックや評価のためにビデオに撮ることもあります。プレゼンテーション、ディスカッションには、日本人学生にも参加してもらうことも考えています。</p>			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
<p>発表の準備や資料の収集は授業時間外でする必要があります。</p>			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
<p>授業内活動(70%)、期末試験(口頭試験)(20%)をループリックで評価、課題提出(10%)</p>			
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】			
<p>ハンドアウトを配布します。</p>			
参考文献【Recommended Literature】			
<p>授業のときに紹介します。</p>			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
<p>クラスメイトと協働して活動を進めていく態度が望まれます。</p>			

授業科目名【Class Title】	単位【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語 B 【JEP 5 文章表現】	1 単位	鎌田 美保 かまた みほ	
サブテーマ【Sub Theme】		開講期【Semester】	曜講時【Day & Period】
いろいろなタイプの文章を書く		後期	月1講時
到達目標【Attainment objectives】			
<p>到達目標は CEFR B2.1 程度です。具体的には次のような目標が挙げられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学生活で必要なメールを相手の立場や気持ちを考えて書くことができる。 あるテーマについて、資料収集・調査をして、賛成・反対の意見を、理由を示して書くことができる。 自分の好きな本、映画、演劇の評を読む人が興味を持つように書くことができる。 プレゼンテーションに必要な資料（PPT、レジュメ）を分かりやすく正確に書くことができる。 <p>1~4 全てで、</p> <ol style="list-style-type: none"> 句読点「、」「。」や接続詞、指示代名詞などを正しく使って書くことができる。 構成を考えて、最初から最後まで矛盾がない文章を書くことができる。 			
講義概要【Lecture Outline】			
<p>大学生活で必要なメールやプレゼンテーション資料、自分の考えや興味・関心のあることを他の人に伝える文章を書きます。読む相手や書く目的によって、どのようなことを意識すればいいかを考え、目的に合わせて適切な書き方ができるよう練習していきます。文章を書く上で必要な文法や表現なども適宜紹介、練習等をします。</p>			
講義方法【Lecture Method】			
<p>いろいろなタイプの文章を書く活動をします。書くためのモデルになるような文を読むこともあります。書いたものはクラスで読み合って、よい点・改善点を指摘し合います。</p>			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
<p>授業で行う活動のために、事前に課題を出すことがあります。また、書いた文章をクラスで読み合った後に修正する文章を書く課題を出すこともあります。</p>			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
<p>受講姿勢及び授業貢献度 20%、課題 40%、中間課題 20%、期末課題 20%</p>			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
<p>ハンドアウトを配布します。</p>			
参考文献【Recommended Literature】			
<p>授業中に紹介します。</p>			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
<p>個人的な活動に加え、クラスでの話し合いやクラスメートとの活動にも積極的かつ協力的に参加することが求められます。課題提出期限は必ず守ってください。</p>			

2018年度シラバス（講義概要・授業計画）

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語 B 【JEP5 文法】	1 単位	小松 知子	
サブテーマ【Sub Theme】		開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
		後期	火 2 講時
到達目標【Attainment objectives】			
<p><分析力></p> <p>日本語文法を分析する方法を知っており、分析できる</p> <p><言語能力> CEFR B2.1程度</p> <p>誤解につながるような間違いを犯さないほど高い文法運用力を身につける</p> <p>文法の整理や分析をする話し合いの中で、自分の考えを説明し、仮説を立てたり、他の人が立てた仮説を評価したりすることができる</p>			
<p>講義概要【Lecture Outline】</p> <p>これまで学んだ日本語文法を「形」「意味・機能」「使い方」を考えながら整理します。そして、自分の母語や他の言語と比較したり類義表現との違いを比較したりして分析します。今まで疑問に思っていたことを一緒に考え、理解を深め、使いこなせるようにします。</p> <p>取り上げる項目は、重要な基本文法項目の他、受講生の希望を参考に決めます。先学期は、「構造文型・表現文型」「『は』と『が』」「自他動詞」「ヴォイス（受身・使役・使役受身）」などを勉強しました。</p> <p>日本語能力試験対策の勉強はしません。</p>			
<p>講義方法【Lecture Method】</p> <p>講義形式ではなく、主にグループ活動で話し合いながら考え、問題を解きく発見型の授業です。</p> <p>2回に1回程度、復習クイズをします。</p>			
<p>授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】</p> <p>自分で考えてくる宿題の他、実際にどのように使われているかネットで調べたり、日本人に聞き取り調査する宿題もあります。クイズをするので復習も必要です。</p> <p>詳しくは、授業時に指示します。</p>			
<p>試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】</p> <p>宿題：20%、クイズ：40%、期末試験：40%</p> <p>期末試験の範囲は、1学期間学んだ全項目です。クイズや試験の後にフィードバックします。</p>			
<p>テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】</p> <p>ハンドアウトを配布します。</p>			
<p>参考文献【Recommended Literature】</p> <p>授業時に知らせします。</p>			
<p>受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】</p> <p>授業では、ペアやグループで活動したり、話し合ったりすることが多くなります。個人的な活動だけでなく、グループ活動にも積極的、協力的に参加してください。</p>			

2018年度シラバス（講義概要・授業計画）

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】			
日本語 B 【JEP5 視聴解】	1 単位	八木 和枝			
ニュース・TEDの聞き取り	後期	木1講時			
到達目標【Attainment objectives】					
このクラスの到達目標は、CEFR B2.1くらいです。具体的には、以下のような目標があります。					
1. テレビのニュースを見て、内容が理解できる。					
2. 社会的な問題に関するニュースを見て、社会の現状や問題の背景などを理解することができる。					
3. あまりなじみのない分野であっても、映像やテロップを手がかりにしたり、辞書で専門用語を調べたりしながら、その内容が理解できる。					
4. はっきり話された標準語であれば、生のスピーチを聞いて、語られた内容や話し手が聴衆に伝えたいことなどがだいたい理解できる。					
講義概要【Lecture Outline】					
この授業では、最新のニュースや専門家のスピーチなどを視聴します。					
講義方法【Lecture Method】					
①ニュース：					
最新のニュースを教室で視聴して内容を理解する活動や、各自が自主的に視聴してきたニュースの詳細を整理して紹介する活動を行います。					
②専門家のスピーチ：					
スピーチや討論を聞きながら、キーワードをメモしたり、話の流れを整理したりして、内容を理解する活動を行います。					
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】					
テレビのニュースを見て、メモを作ることを宿題にします。その視聴してきたニュースについて、授業の中で紹介する時間を取ります。					
また、授業で視聴したニュース・TEDについて、翌週、クイズを行うことがあります。大事な語彙や表現について、復習しておいてください。					
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】					
宿題・クイズ：40%					
中間試験：30%					
期末試験：30%					
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】					
ハンドアウトを配布します。					
参考文献【Recommended Literature】					
授業中に説明します。					
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】					
授業では、グループで話し合ったり、活動に取り組んだりします。積極的な参加が必要です。					

2018 年度シラバス（講義概要・授業計画）

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】			
日本語 B (JEP5 読解)	1 単位	戎 妙子 (えびす たえこ)			
様々なタイプの文章に触れ、書き手との対話を楽しもう	第 2 学期	月曜日 2 講時			
到達目標【Attainment objectives】					
<p>このクラスの到達目標は CEFR B2.1 程度です。具体的には以下の力をつけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 目的や文章の種類に合わせて、スピードや読み方を変えながら独力でかなりのところまで読み解ける。 短い文章であれば、様々なタイプの文章を展開を予測したり、問い合わせ立てながら読み進めることができる。 ヒントがあれば、要点把握を含め多様な方略を駆使しながら内容理解を深めることができます。 短い文章であれば、自らの理解の度合いを分析的に振り返ることができます。 					
講義概要【Lecture Outline】					
<p>読解とは、文章を媒介にした書き手と読み手の対話だと言えます。このクラスではその対話を促進する力をつけるために、異なるタイプの文章（主に論説文、小説、随筆等）を、様々な方略を使いながら読む練習をします。</p>					
講義方法【Lecture Method】					
<p>クラスでは主に以下の読解方略の練習をする予定です。</p> <p>①意味理解を明確にするための言い換え練習、②要点把握のための要点抜き出し練習、③理解を深めたり確認するための予測、質問生成練習、④意味段落にわけて考えたり、ディスコースマーク（談話標識）に注目する構造把握練習。自分一人でまたはクラスメイトと話し合いながら課題に取り組んでもらいいます。</p>					
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】					
<ol style="list-style-type: none"> 配布資料の予習・復習をしてください。 各読み物毎の課題に取り組んでください。 資料を読んで、わからない単語があったら意味を確認しておいてください。 声に出して資料を読んでもらうことがありますので、スムーズに読めるよう練習をしてください。 					
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】					
<p>配布資料の確認テスト 15% 各読み物毎の課題 25% 中間理解度テスト 30% 期末理解度テスト 30%</p>					
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】					
<p>特にありません。資料を配付しますので、自分できちんと管理してください。</p>					
参考文献【Recommended Literature】					
<p>必要な場合は、授業の中でお知らせします。</p>					
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】					
<p>図書館を利用して、自主的にどんどん読むことに挑戦してください。</p>					

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】			
日本語 B 【JEP6 ビジネス日本語】	1 単位	ふくだ 福田 えり			
サブテーマ【Sub Theme】	後期	火2講時			
到達目標【Attainment objectives】					
<p>このクラスの到達目標は、CEFR B2.2 くらいです。具体的な学習目標は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の置かれている立場や背景などを考え、必要な情報を取捨選択して、簡潔にわかりやすく伝えることができる。 理由や具体例を示しながら自分の意見を主張することができる。また相手の意見や背景情報をよく理解した上で、反応することができる。 ビジネスメールの基本構成を理解することができる。読み手にとって必要な情報が何かを整理しながら、簡潔でわかりやすいメールを書くことができる。 社長インタビューや企業内容に関連する記事を読んで、発信者が伝えたいメッセージを、背景を含めて理解することができる。それに対する自分の意見を簡潔に、端的に説明することができる。 状況や相手に応じた適切な言葉づかいで、自信を持って言いたいことを伝えることができる。 自身やクラスメートのパフォーマンスを、評価基準にそって適切に評価することができる。 					
講義概要【Lecture Outline】					
<p>将来日本と関係のある仕事に就きたい、日本で働くことに興味がある学生が対象です。これまで皆さんのがんばりが身につけてきた「読む」「書く」「聞く」「話す」力をビジネス場面のコミュニケーションに応用して行きます。今期は、オフィシャル場面の自己紹介、メールやりとり、面接に加えて、Nintendo の社長メッセージを読んだり、日本で働く元留学生の話を聞いたり、日本社会の実際を理解する活動を予定しています。</p>					
講義方法【Lecture Method】					
<p>実際のコミュニケーションタスクを想定した練習をします。 ピアレビューを取り入れ、自己評価だけでなく、互いのパフォーマンスを評価します。</p>					
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】					
<p>事前に記事を読んでくるなどの予習や、授業中に作業が終わらなかった場合は授業外に作業してもらうことがあります。詳しくは授業中にお伝えします。</p>					
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】					
<p>授業中のパフォーマンスおよび提出物 (90%)、平常点 (10%)</p>					
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】					
<p>必要に応じて授業中に配布、提示します。</p>					
参考文献【Recommended Literature】					
<p>必要に応じて授業中に提示します。</p>					
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】					
<p>みんなの将来の夢に少しでも近づける学びがあることを願いながら、積極的な参加をお待ちしています。</p>					

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語 B 【JEP6 関西方言】	1 単位	八木 和枝	
サブテーマ【Sub Theme】		開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
		後期	水2講時
到達目標【Attainment objectives】			
このクラスの目標は、以下の通りです。			
1. 日本語の多様性について認識し、その理由や背景について理解できる。 2. 京都弁を含む関西方言の特徴、言語コミュニケーションの文化的側面が理解できる。 3. 身近な話題や経験した内容でなくとも、関西方言話者の会話を聞いて、おおむね理解できる。 4. 同世代だけでなく、世代差のある関西方言話者の会話にも、多様な方略を使いながら参加できる。 5. 標準語と関西方言の異同について認識し、場や参加者に応じて使い分けを心がけることができる。			
講義概要【Lecture Outline】			
この授業では、関西方言の学習します。日本語の多様性を知ることや関西方言についての知識を得ることだけでなく、実際に聴いて理解するための力や、会話に参加できるようになるための力を身につけます。また、関西独特のことばを京阪式のアクセントで発音する練習も行います。			
講義方法【Lecture Method】			
前半は、関西方言の音声データを使い、聴解の練習を行います。その際、標準語との相違に着目しながら、関西方言の音声、語彙、文法、談話における特徴、便利な言い回し、等について整理します。後半は、関西の「お笑い」を含む、言語コミュニケーションの文化的側面について調査し、発表を行う予定です。フィードバックや評価のために活動を録音・録画することがあります。			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
前半は、毎回、授業の初めにクイズを行います。授業で習った文法や語彙などは、必ず復習して覚えましょう。活動の準備などは、授業時間外に行う可能性があります。			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
クイズ：30% 聴解試験：30% 方言調査活動：40%			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
ハンドアウトを配布します。			
参考文献【Recommended Literature】			
授業中に説明します。			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
授業では、ペアやグループで話し合ったり、活動に取り組んだりします。関西方言に関する気づきの共有や調査についての提案など、積極的な参加が必要です。			

2018 年度シラバス（講義概要・授業計画）

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】			
日本語 B 【JEP6 アカデミックジャパニーズ】	1 単位	久保 壱			
クリティカル・シンキングを身につける	後期	木 1 講時			
到達目標【Attainment objectives】					
このクラスが目標とする言語能力レベルは、CEFR で B2.2 程度です。その言語能力をベースに、以下の 3 点に取り組み、思考力を養います。					
<ol style="list-style-type: none"> 1. ある問題に対し、多角的な側面から観察・アプローチができるようになる。 2. 自らの考えを、一貫性や論理性をもたせながら構築することができる。 3. 口述または記述によって、自らの考えをわかりやすく相手に伝えることができる。 					
講義概要【Lecture Outline】					
レポート課題や議論をはじめ、大学や大学院における学術的な活動には、「あるテーマについての問題に対し、深い思考をもって取り組み、解決する力」が必要です。この講義では、特にクリティカル・シンキング、つまり、批判的思考力の養成を目的として、ディスカッションやレポート作成に取り組みます。					
講義方法【Lecture Method】					
前期はディスカッション、後期はレポート課題やプレゼンテーションによってクリティカル・シンキングのスキルを養います。語彙や文法の習得を主な目的とした授業ではありませんが、必要なものに関しては隨時指導します。					
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】					
授業中に指示します。					
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】					
授業中の活動（積極性や貢献度など）20%、宿題 30%、定期試験（レポート課題）50%で評価します。ただし、評価方法は授業の進み方によって変える可能性があります。					
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】					
必要に応じて授業で紹介します。					
参考文献【Recommended Literature】					
なし					
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】					
わからないことを、わからないままにしないようにしましょう。質問したり、自分で（または友達と）調べたりするなど、方法はたくさんありますが、自発的な努力がなければ、いつまでも問題は解決しません。					

授業科目名【Class Title】	単位【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語 B 【JEP6 口頭表現】	1 単位	久次優子 ひさつゆうこ	
サブテーマ【Sub Theme】		開講期【Semester】	曜講時【Day & Period】
		前期・後期	水曜日 1 講時
到達目標【Attainment objectives】			
このクラスの到達目標は CEFR B2.2 くらいです。具体的には次のような目標が挙げられます。			
<p>【会話・ディスカッション】</p> <ol style="list-style-type: none"> 状況に合った話し方で母語話者と無理なく自信をもってコミュニケーションができる 気持ちのありようを伝え、出来事や経験のもつ個人的重要性を強調することができる。 議論の流れを的確に把握し、自分の考え方を正確に、また説得力をもって提示できる。 異文化間のコミュニケーションにおいて、異なることを認め、自分とは異なる物の見方を尊重し、よく考えて自分自身を表現することができる 			
<p>【プレゼンテーション】</p> <ol style="list-style-type: none"> 関心のあるテーマで、明確かつ体系的にプレゼンテーションが展開できる 要点とそれを支える関連情報をしっかりと伝え、話題となる問題について説明できる 聞き手からの質問に対して柔軟に対応することができる 			
講義概要【Lecture Outline】			
異文化間でのコミュニケーションについて考えたり、会話の練習をしたりして、文化間の相違を知り、自信を持って口頭でのやりとりができるようになることを目指します。また、自分のこと、社会のことなど、関心のあるテーマについて、クラスメイトに発表したり、ディスカッションしたりします。1つのことを文化的背景や考え方の異なる人たちと話すことによって、色々な物の見方を知ることができます。そして、そのときに、ただ伝わればよいというのではなく、正確かつ、効果的に言葉を使い、自分らしく表現することを目指します。			
講義方法【Lecture Method】			
ロールプレイ、プレゼンテーション、ディスカッションを中心に進めます。それらは、フィードバックや評価のためにビデオに撮ることもあります。プレゼンテーション、ディスカッションには、日本人学生にも参加してもらうことも考えています。			
講義方法【Lecture Method】			
発表の準備や資料の収集は授業時間外でする必要があります。			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
授業内活動(70%)、期末試験(口頭試験)(20%)をルーブリックで評価、課題提出(10%)			
テキスト(書名・著者名・出版社名・価格)【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
ハンドアウトを配布します。			
参考文献【Recommended Literature】			
授業のときに紹介します。			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
クラスメイトと協働して活動を進めていく態度が望まれます。			

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】			
日本語 B 【JEP6 文章表現】	1 単位	かまだ 美保 鎌田 美保			
いろいろなタイプの文章を書く	後期	月2講時			
到達目標【Attainment objectives】					
<p>到達目標は CEFR B2.2 程度です。具体的には次のような目標が挙げられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学生活で必要なメールを相手の立場や気持ちを考慮して書くことができる。 社会問題について、読者を説得できるよう根拠を示しながら自分の考えを書くことができる。 自分が経験したことについて、複数の見解を示しながら、明瞭かつ詳細に書くことができる。 プレゼンテーションに必要な資料（PPT、レジュメ）を分かりやすく正確に書くことができる。 <p>1~4全てで、</p> <ol style="list-style-type: none"> 句読点「、」「。」や接続詞、指示代名詞などを正しく使って書くことができる。 構成を考えて、最初から最後まで矛盾がない文章を書くことができる。 自分自身が書いた文章の間違いに気づいて訂正することができる。 					
講義概要【Lecture Outline】					
<p>大学生活で必要なメールやプレゼンテーション資料、自分の経験、社会問題に関する意見など、さまざまな種類の文章を書きます。読む相手や書く目的によって、どのようなことを意識すればいいかを考え、目的に合わせて適切な書き方ができるよう練習していきます。</p>					
講義方法【Lecture Method】					
<p>いろいろなタイプの文章を書く活動をします。書くためのモデルになるような文を読むこともあります。書いたものはクラスで読み合って、よい点・改善点を指摘し合います。文章を書く上で必要な文法や表現なども適宜紹介、練習等をします。</p>					
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】					
<p>授業で行う活動のために、事前に課題を出すことがあります。また、書いた文章をクラスで読み合った後に修正する文章を書く課題を出すこともあります。</p>					
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】					
受講姿勢及び授業貢献度 20%、課題 40%、中間課題 20%、期末課題 20%					
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】					
ハンドアウトを配布します。					
参考文献【Recommended Literature】					
授業中に紹介します。					
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】					
<p>個人的な活動に加え、クラスでの話し合いやクラスメートとの活動にも積極的かつ協力的に参加することが求められます。課題提出期限は必ず守ってください。</p>					

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語 B 【JEP6 文法】	1 単位	小松 知子	
サブテーマ【Sub Theme】		開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】
		後期	火 1 講時
到達目標【Attainment objectives】			
<p>＜分析力＞</p> <p>日本語文法を分析する方法を知っており、分析できる</p> <p>＜言語能力＞ CEFR B2.2程度</p> <p>たまに言い間違いをすることはあっても、ほとんど自分で修正できる高い文法駆使力がある</p> <p>文法の整理や分析をする話し合いの中で、自分の考えを正確に表現でき、複雑な議論に対し、説得力をもって見解を示し、対応できる</p>			
講義概要【Lecture Outline】			
<p>これまで学んだ日本語文法を「形」「意味・機能」「使い方」を考えながら整理します。そして、自分の母語や他の言語と比較したり類義表現との違いを比較したりして分析します。今まで疑問に思っていたことを一緒に考え、理解を深め、使いこなせるようにします。</p> <p>取り上げる項目は、重要な基本文法項目の他、受講生の希望を参考に決めます。先学期は、「構造文型・表現文型」「テンス」「アスペクト」「自他動詞」「ヴォイス（受身・使役・使役受身）」などを勉強しました。</p> <p>日本語能力試験対策の勉強はしません。</p>			
講義方法【Lecture Method】			
<p>講義形式ではなく、主にグループ活動で話し合いながら考え、問題を解く発見型の授業です。</p> <p>2回に1回程度、復習クイズをします。</p>			
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】			
<p>自分で考えてくる宿題の他、実際にどのように使われているかネットで調べたり、日本人に聞き取り調査する宿題もあります。クイズをするので復習も必要です。</p> <p>詳しくは、授業時に指示します。</p>			
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】			
<p>宿題：20%、クイズ：40%、期末試験：40%</p> <p>期末試験の範囲は、1学期間学んだ全項目です。クイズや試験の後にフィードバックします。</p>			
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】			
<p>ハンドアウトを配布します。</p>			
参考文献【Recommended Literature】			
<p>授業時に知らせします。</p>			
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】			
<p>授業では、ペアやグループで活動したり、話し合ったりすることが多くなります。個人的な活動だけでなく、グループ活動にも積極的、協力的に参加してください。</p>			

2018年度シラバス（講義概要・授業計画）

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】	
日本語 B 【JEP6 視聴解】	1 単位	八木 和枝	
映画・ドキュメンタリー番組の聞き取り	後期	木2講時	
到達目標【Attainment objectives】			

このクラスの到達目標は、CEFR B2.2 くらいです。具体的には、以下のような目標があります。

1. 映画を視聴して、話の筋を追い、登場人物の立場や考え方、また、どのように葛藤や障壁を乗り越えたかなどを理解することができる。
2. 映画の中で繰り広げられる会話のやり取りを聞いて、状況や内容を誤解することなく把握し、話者の意図や心情を理解することができる。
3. ドキュメンタリーや教養番組を視聴して、社会の現状や問題の背景、また、話し手が提示する問題点や意見の主要点を正確に把握することができる。
4. 視聴した映像の内容について、根拠や補足事項を挙げながら、自分の意見や感想を述べることができる。

講義概要【Lecture Outline】

この授業では、映画やドキュメンタリー番組などを視聴します。

講義方法【Lecture Method】

①映画やドキュメンタリー：

長い映像資料を扱うことが多いため、授業ではまとまりで区切りながら視聴し、内容理解のための活動を行います。

②映画やドキュメンタリーに関する映像資料：

宿題で視聴してきた映像の内容について、整理して紹介したり、各自の論点で意見や感想を述べたりする活動を行います。

授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】

映像資料を視聴して、メモを作ることを宿題にします。また、視聴してきた映像資料について、授業の中で紹介する時間を取ります。

試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】

宿題：40%

中間試験：30%

期末試験：30%

テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title · Author · Publisher · Price)】

ハンドアウトを配布します。

参考文献【Recommended Literature】

授業中に説明します。

受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】

授業には、積極的な参加が必要です。また、2～3週にわたって映画を鑑賞することが多いため、欠席しないよう留意してください。やむをえない場合は、必ず早めに連絡すること。

授業科目名【Class Title】	単位 【Credits】	担当者【Class Instructor】			
日本語 B (JEP6 読解)	1 単位	戎 妙子 (えびす たえこ)			
サブテーマ【Sub Theme】	開講期 【Semester】	曜講時 【Day & Period】			
より深く書き手との対話ができる力をつける。	第2学期	月曜日 1講時			
到達目標【Attainment objectives】					
<p>このクラスの到達目標は CEFR B2.2 程度です。具体的には以下の力をつけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 目的や文章の種類に合わせて、スピードや読み方を変えながら独力で問題なく読み解ける。 長い文章でも、様々なタイプの文章を展開を予測したり、問い合わせ立てながら読み進めることができる。 ヒントがなくても、要点の把握を含め多様な方略を独自で駆使して内容理解を深めることができる。 既に知っている知識と文章の内容を結びつけながら読むことができる。 自分の理解の度合いを分析的に振り返ることができる。 					
講義概要【Lecture Outline】					
<p>読解とは、文章を媒介にした書き手と読み手の対話だと言えます。このクラスではその対話を促進する力をつけるために、異なるタイプの文章（主に論説文、小説、随筆等）を、様々な方略を使いながら読む練習をします。</p>					
講義方法【Lecture Method】					
<p>クラスでは主に以下の読解方略の練習をする予定です。</p> <p>①意味理解を明確にするための言い換え練習、②要点把握のための要点抜き出し練習、③理解を深めたり確認するための予測、質問生成練習、④意味段落にわけて考えたり、ディスコースマーク（談話標識）に注目する構造把握練習。⑤知っている知識と内容を結びつけて読む知識活用練習、</p> <p>※自分一人でまたはクラスメイトと話し合いながら課題に取り組んでもらいます。</p>					
授業時間外における予・復習等の指示【Direction related to study out of class】					
<p>1. 配布資料の予習・復習をしてください。</p> <p>2. 各読み物毎の課題に取り組んでください。</p> <p>3. 資料を読んで、わからない単語があったら意味を確認しておいてください。</p> <p>4. 声に出して資料を讀んでもらうことがありますので、スムーズに讀めるよう練習をしてください。</p>					
試験方法・成績評価方法【Testing and Grading Method】					
<p>配布資料の確認テスト 15% 各読み物毎の課題 25% 中間理解度テスト 30% 期末理解度テスト 30%</p>					
テキスト（書名・著者名・出版社名・価格）【Textbook(s) (Title・Author・Publisher・Price)】					
<p>特にありません。資料を配付しますので、自分できちんと管理してください。</p>					
参考文献【Recommended Literature】					
<p>必要な場合は、授業の中でお知らせします。</p>					
受講上の注意・担当者からのひとこと【Important Considerations/Notes from Instructor】					
<p>図書館を利用して、自主的にどんどん読むことに挑戦してください。</p>					

